

12月議会

2016年1月1日号

12月議会は、平成27年度一般会計補正予算審査を含め、14議案の審査を行いました。補正予算については、乳幼児医療費無料にともなう増額、学校給食センター建て替え建設土地購入等、賛成しました。

<主な議案>

栗東市行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号(マイナンバー)の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定について

マイナンバー制は、政府が個人情報を一つの番号で管理し、税・保険料の徴収強化や社会保障の抑制を進めるために使うものである。情報漏えいの危険や徴税強化に使われる懸念があるため、9月議会で制度導入そのものに反対しており、その具体化についても反対しました。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

指定管理者の指定について

公の施設の指定管理者の代表が、議員であることについて、地方自治法第92条の2で兼業禁止にあたらないと市は説明した。しかし、議員は「指定決議」に関わるという立場である。市民に対する透明性・公平性の確保と、長や議員からの影響力を排除し政治的中立を確保する2つの観点と兼業禁止の規制を求めて反対しました。

請願書

「治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)」の制定を求める請願書を提出。

提出者(大西とき子)

意見書

TPP交渉「大筋合意」の撤回を求める意見書を提出。

提出者(伊吹みちえ)

※ 請願書及び意見書は賛成少数で不採択となりました。

3月議会日程(案)

- 2/24 代表質問通告締切(午前中)
- 3/1 本会議開会・個人質問通告締切
- 4 追質問(代表質問)通告締切
- 8 代表質問
- 9 代表・個人質問
- 10・11 個人質問
- 14~18 各常任委員会
- 22 反対討論通告締切
- 23 賛成討論通告締切
- 24 本会議閉会 委員長報告・採決



大西とき子 個人質問

伊吹みちえ



地方創生について

問 人口減少対策では、若い世代の結婚・出産・子育ての対策が重要と考えるが、どのような施策を検討しているのか。

答 市民アンケート調査からは、「子育ての経済負担軽減」「子育てしながら働ける環境」「安全な子どもたちの生活環境」の意向が見える。総合戦略として取りまとめている。

問 高齢者の対策として、「くりちゃんバス」の充実と高齢者の利用料負担の軽減により、買い物難民や通院難民の解消、公共施設への社会参加の機会を保障していくことが、地方創生につながるのでは。

答 くりちゃんバス充実の点では、日常生活における移動手段の確保を目的に、利用者のご意見や実態調査に基づいて継続的な見直しを重ねて、現在の路線網とダイヤに至っている。また、高齢者の利用料金の減免については、民営路線と比べても廉価な料金設定になっていると考えている。

後期高齢者健康診査について

問 平成27年度から75歳以上の健康診査は、生活習慣病受診者を除外したが、周知はどのようにしたのか。

答 年に一度の健康診査は、病気の早期発見・予防に大きな役割をはたしている。なぜ、定期的に受診している後期高齢者を健康診査の対象から除くのか。

答 すでに生活習慣病で定期的に医療機関にかかっている高齢者については、主治医が全身状態を見て、必要と認められた健康チェックや精密検査を実施している実態をふまえ、原則健診の対象とした。

問 除外対象者に、除外したことの周知はどのようにしているのか。

答 対象者に個別にお知らせをした。問い合わせがあった方についてはお伺いし説明と対応をしている。

12月市議会報告 2016年1月 日本共産党栗東市議団発行

市会議員 大西とき子 ☎ 553-0492

市会議員 伊吹みちえ ☎ 558-3277

お気軽にご意見・ご要望お寄せください。

迎春

市会議員 大西とき子
市会議員 伊吹みちえ

2016年、戦争法廃止2000万人署名。安倍自・公政権に代わる新しい政治をもとめる市民・団体による動きの広がりに、希望の見える新年を迎えました。戦後最悪の悪法(戦争法)をなくそう、立憲主義を復権させようという大きな流れに、政治がどうかたえるかが問われる年です。

栗東市でも、昨年6月市議会で「戦争法の撤回を求める意見書」(日本共産党提出)に対し、共産党・市民ネット・栗東再生の7名の賛成少数で不採択となりました。しかし黙ってはいられないと、政党、団体、個人が話し合い「バイバイ戦争法・栗東の会」を立ちあげ、毎月19日にアピールや2000万人統一署名行動に取り組んでいます。

今年夏の参院選で自民・公明を少数に追い込み、「戦争法廃止・立憲主義取り戻す統一政府を」と統一候補擁立のための話し合いが進められています。

日本共産党は19日戦争法強行の日の午後「戦争法廃止・集団的自衛権撤回・立憲主義取り戻す」国民連合政府をつくろうと呼びかけています。

激動の年、歴史にのこる2016年。国民の共同の力で、次の世代に戦争のない平和でくらし守る政治を切り開くために全力でがんばります。

今年もよろしくお願ひします。
2016年元旦

とんでもない

安倍内閣は「国民は正月の餅を食ったら怒りも忘れる」と高をくくっていますが、戦いは大きく広がっています。

日本共産党は、「戦争法廃止の政府」をつくること、そのために野党が参院選で、共闘することを呼びかけています。

<お知らせ>

- 1月19日 16:00~17:00 フレンドマート安養寺店
- 2月19日 16:00~17:00 スター本店(辻)
- 3月19日 16:00~17:00 アルプラザ栗東店(栗東駅前)
- 4月19日 16:00~17:00 フレンドマート安養寺店

*団体・個人が集まって、署名・宣伝しています。ぜひご自由にご参加ください。

「バイバイ戦争法 栗東の会」

消費税は生活破壊税
10%増税中止を
軍事費増額と大企業減税
の財源づくり

選挙目当てのニセ『軽減』

<年4万円を超す負担増>

8%から10%に引き上げられると、5.4兆円の増税になる。そのうち1兆円分を据え置いても4.4兆円の負担になる。1世帯あたり4万円以上の大増税になる。

どの新聞も『軽減税率』と書いているが、このどこが軽減税率なのか！しかも1兆円分の財源に「低所得者対策」にまわす予定だった4000億円を削るといふ。何が低所得者対策か。

ほんとうに庶民のことを真剣に考えるのなら、10%への増税をやめるべきではないでしょうか。

<大企業にはさらに減税>

史上最高の設けをあげている大企業には、さらに法人税減税。その財源は、赤字の中小企業からも税金を取れるように外形標準課税の対象を広げるといふ。

参院選は、ここが争点に
消費税10%への増税ストップ！
戦争法(安保法制)廃止！